

令和3年度離島漁業再生支援交付金漁業集落实績報告

令和4年5月17日

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：鹿児島県

市町村名：奄美市

島名：奄美大島

協定対象漁業集落名：すみよう漁業集落

協定参加世帯数：36世帯（44人）

（うち漁業世帯数：18世帯（18人））

2. 協定締結の経緯

本集落においては、高齢化や後継者不足に伴う漁業者数の減少が進む一方、魚価・水揚量・水揚高の減少等の様々な課題を抱えている。産卵場の整備や放流事業、加工品開発等の事業を行い、魚価・水揚量・水揚高の向上を図り、漁業所得の向上と漁業者数の維持を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むことにした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・イカの産卵所の増加のため、イカ柴を4カ所で設置した。

(投入作業)



(投入準備)



(投入準備)



- ・有害水産動物からの漁業被害防止のため、仕掛罟方式のサメ駆除を実施した他、サメの買い取りを行った。

(仕掛罟引上げ)



(仕掛罟投入)



(サメ買取)



(別紙2)

- ・過去に設置した簡易型浮漁礁継続使用のため、標識ブイの修繕を行った。

(標識ブイ作成)



(重量調整)



(再設置)



②漁業の再生に関する実践的な取組状況

地域の漁獲物を使用した加工品開発を行い、地域の観光交流施設の販売所にて恒常的な販売を行った他、市内のイベントにも積極的に参加し、販路造成と魚職普及に努めた。

(作業風景)



(地域観光交流施設専用売り場)



4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 37 千円

漁業集落漁業就業者数 18 名

本年度は、コロナウイルス感染症の影響により一部の活動を控えたものの、適切かつ効果的な取り組みが実施できるよう集落構成員が努力した結果、上記の活動を実施することができた。

漁業の再生に関する実践的な取組については、コロナウイルス感染症の影響もあり、島内のイベントの多くが中止されたものの、参加可能なものには積極的に参加することで、加工品開発を継続して行うことができた。

また、近隣の観光交流施設の販売所において、地産の水産物を活かした様々な商品を販売し、その売れ行きを把握することで、需要に応じた商品展開及び魚食普及を行った。